

エクシレルSE（農林水産省登録番号第24088号）

適用害虫の範囲及び使用方法

令和6年11月13日現在

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	シアントラニプロール を含む農薬の 総使用回数
りんご	アブラムシ類	2500倍	200～ 700L/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	3回以内
	ハマキムシ類 シンクイムシ類 ヒメボクトウ キンモンボガ キンモンハモグリガ ケムシ類 ヨモギエダシヤク オオタバコガ コガネムシ類 ヨトウムシ	2500～ 5000倍					
もも ネクタリン	ハマキムシ類 ケムシ類 コガネムシ類	5000倍					
	モモハモグリガ シンクイムシ類	2500～ 5000倍					
	モモチョッキリゾウムシ	2500倍					
なし	ハマキムシ類 シンクイムシ類 ヒメボクトウ	2500～ 5000倍					
	ケムシ類	5000倍					
おうとう	アブラムシ類	2500倍					
	ハマキムシ類 ケムシ類 オウトウショウジヨウバエ アザミウマ類 コスカシハ コガネムシ類						
小粒核果類 (うめ、すも もを 除く)	ケムシ類	2500～ 5000倍					
うめ	ケムシ類 モモヒメヨコバイ						
すもも	シンクイムシ類 ケムシ類 スモミハバチ						
ぶどう	ハスモンヨトウ	5000倍	4～14L/10a				
	ケムシ類 アザミウマ類 コガネムシ類 クビアカスカシハ フタテンヒメヨコバイ						
	コガネムシ類 ケムシ類	100倍					
						無人 航空 機に よる 散布	

(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	シアントラニプロール を含む農薬の 総使用回数
マンゴー	アザミウマ類	2000 倍	200～ 700L/10a	収穫 7 日前まで	2 回 以内	散布	2 回以内
かんきつ	アゲハ類 ケムシ類 ハマキムシ類 アザミウマ類 ミカンハモグリガ ミカンキンバラミ ヨモギエダシヤク ケシキスイ類 ゴマダラカミキリ成虫 チャノミドリヒメヨコバイ コアオハナムケリ ハスモンヨトウ カネタキ ミカンカクタムシ クワノミハムシ	5000 倍		収穫前日 まで	3 回 以内		無人 航空 機に よる 散布
		100 倍	4～12L/10a	開花期 まで			
かんきつ (苗木)	ミカンハモグリガ アゲハ類 ゴマダラカミキリ成虫 アブラムシ類	100 倍	30～500mL/樹 (但し、 130L/10a まで)	育苗期	3 回 以内		3 回以内
ブルーベリー	アブラムシ類 オウトウショウジヨウバエ ケムシ類	2500 倍 5000 倍	200～ 700L/10a	収穫前日 まで			
いちじく	アザミウマ類	2500 倍			収穫 14 日 前まで	2 回 以内	散布
茶	ヨモギエダシヤク チャハマキ チャノコカクモンハマキ チャノホリガ チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ マダラカサハラハムシ ハスモンヨトウ コミカンアブラムシ	2000 倍	200～ 400L/10a	摘採 7 日 前まで	1 回		1 回

[エクシレル SE の製品ページに戻る](#)

【成分】 シアントラニプロール (通称：サイアジピル) 10.2%

【性状】 類白色水和性粘稠懸濁液体

殺虫剤分類

28

効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- アルカリ性の農薬や肥料との混用は、有効成分が分解するおそれがあるのでさけてください。これらの薬剤と混用する場合には、メーカーや販売店等に問い合わせるなどして、分解の有無を十分確認してから使用してください。

- やむを得ず、他の薬剤と混用する場合には、事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- 使用量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節してください。
- ぶどうへは、果粉溶脱及び薬斑を生じるおそれがあるので、袋かけ以降に使用してください。また、無袋栽培（傘掛けを含む）には使用しないでください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
 - ・散布は散布機種 of 散布基準に従って実施してください。
 - ・散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ・散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ・周辺作物及び周辺物に飛散しないよう特に注意してください。
- 過度の連用をさけ、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 空容器はほ場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水は散布液調製に用いるなど、ほ場等で使用してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とししてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響を与えるおそれがあるので、散布の際はミツバチ及び巣箱にかからないようにしてください。また、散布直後から1日後まではミツバチを散布区域外に移動させるか、巣門を閉じてください。
- マメコバチに対して影響を与えるおそれがあるので、マメコバチの訪花期間中は散布しないでください。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

- ラベルをよく読んでください。
- 記載以外には使用しないでください。
- 小児の手の届くところには置かないでください。
- 空容器はほ場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水は散布液調製に用いるなど、ほ場等で使用してください。
- 防除日誌を記帳しましょう。